

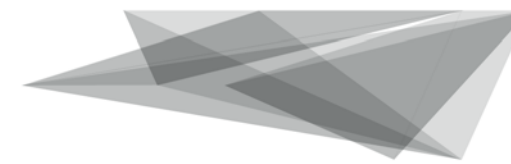
青山学院大学でのデジタルペーパー導入事例

自己紹介

- ・ 上之菌 和宏(うえのその かずひろ)
- ・ 1979年鹿児島生まれ
- ・ 大学・大学院での専攻 CAI, NLP, APS
- ・ 在学中から母校の学術情報センターで臨時職員(という名の学生アルバイト)としてサポートカウンター対応に従事
- ・ 大学院博士(後期)課程単位取得退学後, 私立単科女子大学の情報センターで, ICTサポートや教育研究系システムの導入・運用に従事
- ・ 2011年11月より, 青山学院大学附置情報メディアセンター
- ・ 現在, 同センター助教. 博士(工学)

情報メディアセンター

青山学院の情報環境の
計画、設計、導入、利用者支援
ならびにシステム運用を担う中核組織。
各学部・学科・研究科と協働し
情報技術の活用による教育開発を支援する。
教育・研究活動と情報技術の融合と高度化を
目指している。



AIM

Information and Media

教育研究システム

EDUCATION & RESEARCH SYSTEM

AIMはPC教室をはじめとする

大学内のITシステムの運用を行なっています。

またマイクロソフトオフィスやウイルス対策ソフトなどのソフトウェアをインストールすることができます。

主な教育研究システム

- PC教室/公開PC室 / ラーニングコモンズ
- ログインID / LDAPパスワード
- オンデマンドプリントサービス
- Zドライブ
- ownCloud
- ソフトウェアライセンス提供



授業支援サービス

CLASS SUPPORT SERVICE

AIMでは、資料の配布や、レポート課題などをオンライン上で行うことのできる授業支援システムのCoursePowerや、授業の撮影、動画教材の配信などができる映像収録動画配信サービス、各種機器の貸し出しなど、ICTを活用した授業の実施を支援するサービスを提供しています。

主な授業支援サービス

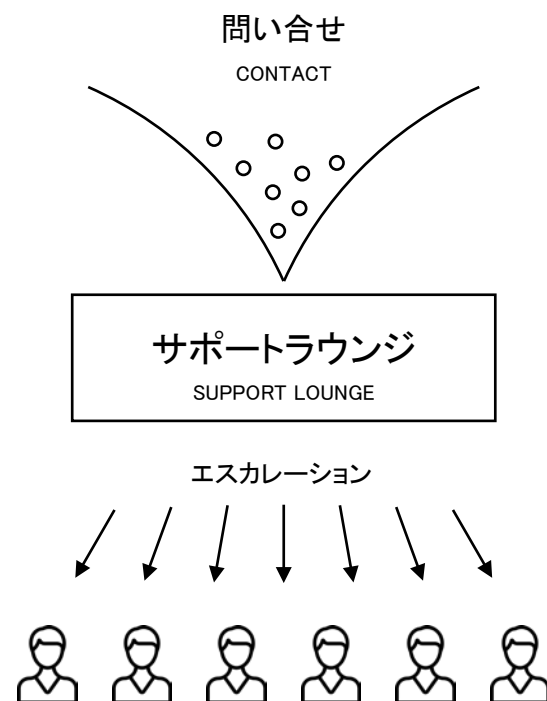
- CoursePower
- 映像収録動画配信サービス
- かいけつ出席貸出サービス
- 授業支援ボックス
- コピペルナー
- デジタルペーパー



サポートラウンジ

SUPPORT LOUNGE

AIMが展開するサービス、システムに関する利用方法や各種相談などに専門のスタッフが対応するサービス窓口を各キャンパスに設けています。利用者からの多様な問い合わせを集約し内容に応じたエスカレーションを行うワンストップサービスを展開しています。



目的と狙い

目的：学生による主体的な学びを促進しつつ、教員の負担を軽減する

狙い

✓ 添削作業の効率化

LMSを通じて電子ファイルを集めるのは容易

Webフォームで入力できるレポート（テキスト・画像・メディア）は採点、返却も容易

回収したファイルをダウンロード、編集できるソフトウェアで確認・添削、再アップロード、返却、再提出を考えるとコストが高い

PDFファイルであったり、図表・グラフを含んだレポート

✓ 手書きによる学習活動の活発化

PBL、グループワーク時の話し合いの場での図表、式、メモなどが電子的に記録として残しづらい

話し合った結果を提出させても、その結果に至る過程を再現できない

デジタルペーパーとCoursePowerの連携について

【教員】

【学生】

① 配付資料を登録



富士通様製LMS
CoursePowerV2

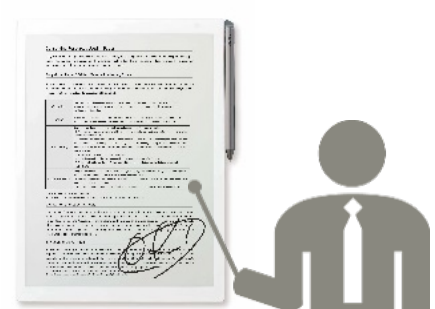


⑨ 返却された課題の確認

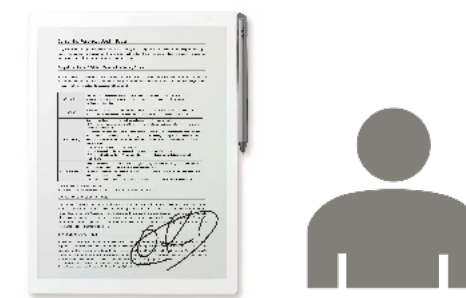
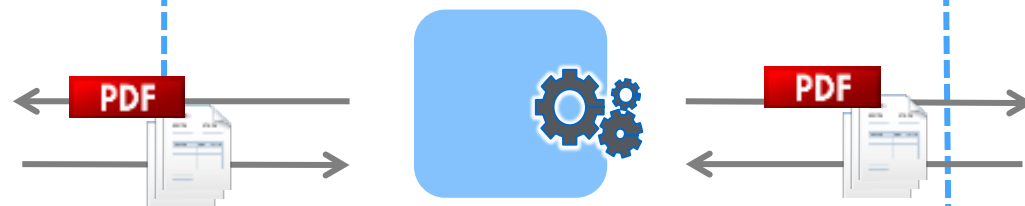


WebAPI

⑥ 提出された課題の一括ダウンロード



③ 配付資料をダウンロード



⑧ 一括返却

DCSS

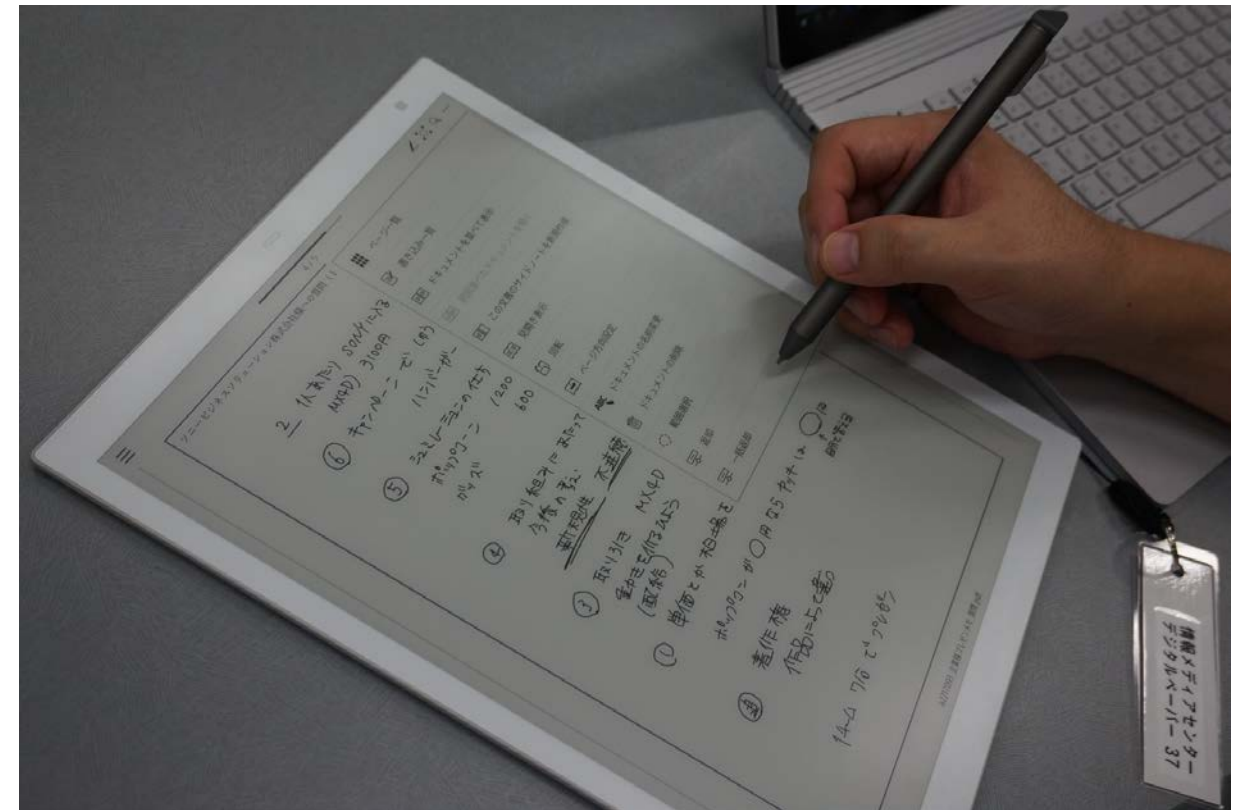
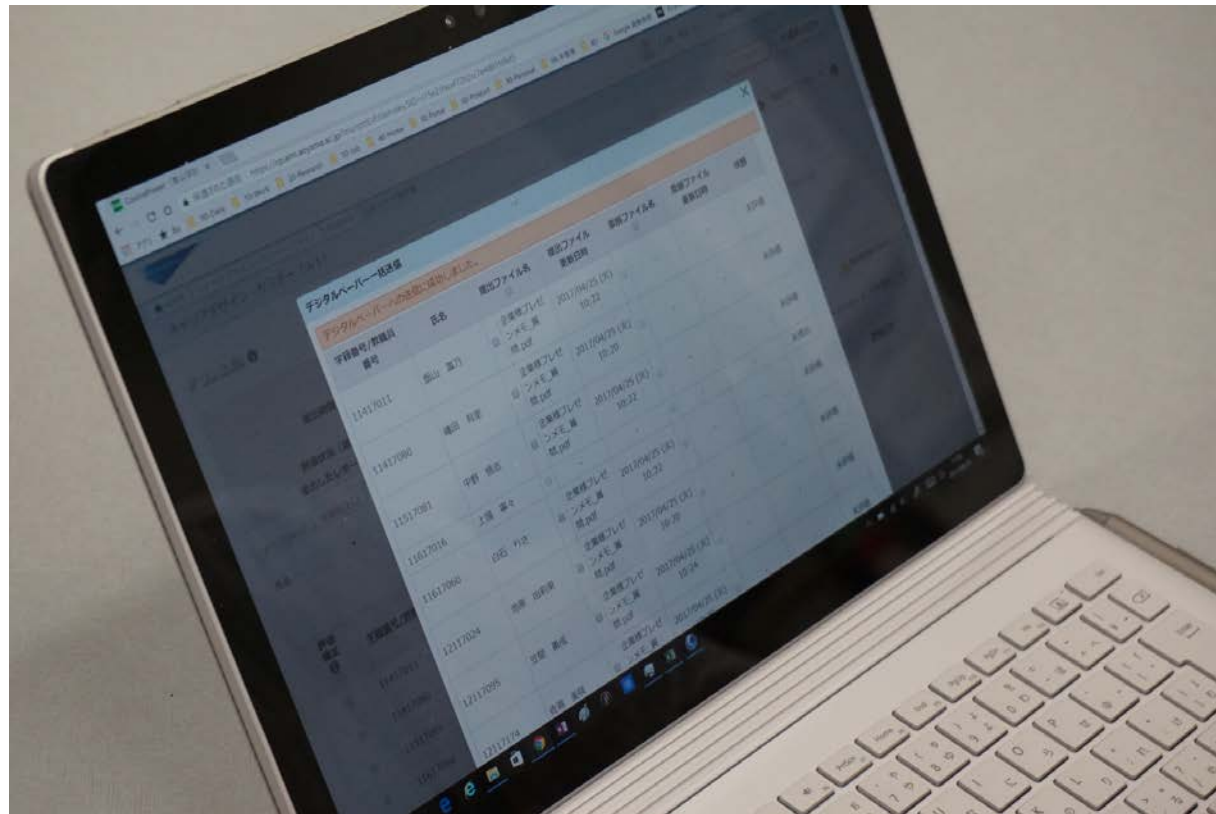
⑤ 課題を教員に提出

⑦ 添削、コメント

② 貸出端末へログイン
④ 課題を手書き入力

導入効果① 添削作業の効率化

- ✓ 添削するファイルをLMSから一括ダウンロードし、添削後デジタルペーパーから一括返却が可能になり、ファイルを一つずつ開く手間を省略できる



導入効果① 添削作業の効率化

- ✓ 学生のレポートに対して直接手書きで書き込むことができるので、キーボードに比べてより的確な指導を効率的に行うことができる



導入効果② 手書きによる学習活動の活発化

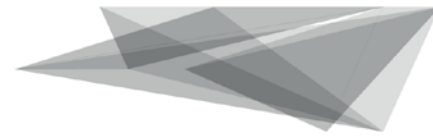
- ✓ 手書きを用いることで、書きながら考える、考えを整理するといった個人ワークを活発化できる
- ✓ 配付、回収など紙だと時間が掛かるが、学生の手書き成果物をその場でLMS上に回収できる



導入効果② 手書きによる学習活動の活発化

- ✓ 図式化して整理する、グループの考えをまとめるなど、最終成果物以外の手書きプロセスを確認することができる





AIM

Information and Media